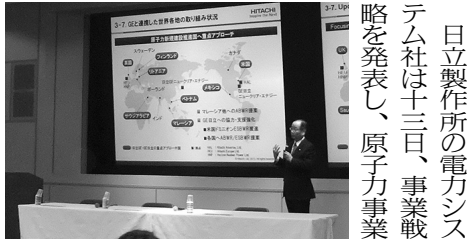


海外に向け積極展開を

日立/電力システム 原子力発電、粒子線も



日立製作所の電力システム社は十三日、事業戦略を発表し、原子力事業

日立製作所の電力システム社は、売上高を二年度で千六百億円から、二〇一三年には三千六百億円に伸ばし、うち半分は海外のエネルギーソリューション事業を受注する上で、積極的に海外展開を図っていく考えを示した。

同日、記者団に対し説明に当たった電力システム社の石塚達郎社長(II)

写真は、世界の原子力発電電力量が、三〇年には一年の約一・六倍に増加するとの見通しから、原子力計画継続国多数との市場動向を示した上で、英国、リトアニアのプロジェクトの他、新規建設推進国への重点拡大をはかるなど、さらなるビジネスチャンスに向け全力を挙げる」と意気

込んだ。

ABWRを建設する英国のウィルヴァ・ニューウィッド・プロジェクトについては先般、日立、ホールズン社、英国政府との債務保証スキーム適用検討協力が合意し、一八年にも炉型認定(GDA)取得など、「極めて順調」としている。この他、GEと連携し、リトアニア、フィンランド、サウジアラビア、マレーシア、ベトナム、メキシコ、米国にも重点的にアプローチを図っていくこととしている。

一方、国内では、新規

制基準に伴うプラント安全性向上と福島復興推進を重点に掲げており、今が「一番底」として、今後の売上回復に期待をかけている。

また、粒子線がん治療装置事業でも、スポットスキヤニングを始めとする先端技術など、日本、米国での高稼働実績、十一年の受注実績をベースに、欧州、ロシア、アジア、中東へも拡販することとしており、ユーザーミーティングを通じて「生の声」で顧客を獲得することもねらっている。

日立製作所は十二日、電力システム社内に一月一日付で「エネルギー事業統括本部」を新設すると発表した。

震災以降のエネルギーを巡る国内事業環境の変化や、途上国の電力需要増、欧米を始めとする電力流通システム技術、プラント監視・高度保守技術のニーズの高まりを見据え、顧客の課題を先取りした提案を行う事業横断的組織として、これまでのノウハウとIT技術を組み合わせ、日立ならではのエネルギーソリューションの提供をねらう。

文部大臣、東京大学総長を務めた有馬朗人氏を座長とする有識者の集まりが、このほど、科学的知見に立脚した原子力政策を求め、緊急提言を発表した。

現在、規制委員会で議論になっている発電所敷地内の活断層問題について、提言では、活動頻度や、ずれの量と方向など、様々な特性を考慮し、活断層が動いた場合の工学的な対応の可否を科学的に検討した上で、結論付

「大臣と語る会」参加者募集

外務省は、「核軍縮・不拡散をテーマ」として、長崎大学医学部良順会館で一月二十日午後一時より行われる「岸田文雄大臣と語る」係(電話03-5501-8129)まで。

外務省は、「核軍縮・不拡散をテーマ」として、長崎大学医学部良順会館で一月二十日午後一時より行われる「岸田文雄大臣と語る」係(電話03-5501-8129)まで。

エネルギー 事業部門強化

日立

日立製作所は十二日、電力システム社内に一月一日付で「エネルギー事業統括本部」を新設すると発表した。

震災以降のエネルギーを巡る国内事業環境の変化や、途上国の電力需要増、欧米を始めとする電力流通システム技術、プラント監視・高度保守技術のニーズの高まりを見据え、顧客の課題を先取りした提案を行う事業横断的組織として、これまでのノウハウとIT技術を組み合わせ、日立ならではのエネルギーソリューションの提供をねらう。

中国電力は十日、島根原子力発電所の耐震安全性評価に係る基準地震動に関する、新たな知見を踏まえ、これまでのSs-1(3)に、Ss-4(五百八十五ガル)を追加設定した上で、新規基準への対応に反映させることを発表した。

島根発電所の基準地震動は、敷地周辺の活断層などを考慮し、Ss-1(六百ガル)、Ss-2(五百八十六ガル)、Ss-3(四百八十九ガル)が設定されていた。このほど、震源と活断層を関連付けることが困難な過去の内陸地殻内地震の観測記録を

考慮する「震源を特定せず策定する地震動」の新知見として、〇四年の北海道留萌支庁南部地震における観測地震動を解析した応答スペクトルで、現状の基準地震動より一部上回ることから、これをSs-4として追加設定することとした。

Ss-4による地震動では、耐震安全性に問題のないことが確認されている。

1~3号機への注水、他系統へ

東京電力 福島第一未解明事項の調査状況

東京電力は十三日、福島第一原子力発電所事故に関する未確認・未解明とされている事項について調査検討状況を発表した。一二年六月に同社が取り

設備の把握・確認、非常用復水器(FC)系熱交換器の水位確認で内部の水が流出するような損傷のないことなどから、使用済み燃料プールの水が揺れに伴い出水した可能性が高いとしている。

また、消防車からの注水にもかかわらず、原子炉が十分冷却されなかった理由については、実際に1~3号機で、崩壊熱に

よる水の蒸発を補給するのに足る注水量だったことが、主復水器や腹水貯蔵タンクへのパイプ流が発生する経路があることを確認したこと、注水の一部が他系統に流れ込んでいた可能性をあげている。今後も原子炉への注水量の評価や、事故進展への影響について継続して検討を行うこととしているが、既に柏崎刈

羽発電所対策が図られている改善事項もある。東京電力では引き続き、未確認・未解明に関する調査を進め、事故の全容解明、廃炉に向けた課題の解決・知見の蓄積につなげていく。

予測では、一三年度に電力需要が前年度比で〇・〇%増と増加に転じ、東日本大震災以降の減少傾向に歯止めがかかることとした。一四年度は電灯需要のほうは内需の鈍化から前年度比で〇・七%減とみるが、電力需要は外需の回復持続による生産の底堅い推移から同〇・八%増と予測している。

電力需要、一四年度に増加予測

電中研

電力中央研究所は十七日、二〇一三・一四年度の日本経済と電力需要の短期予測を公表した。電力需要は一四年度に前年度比で〇・三%増加し四年度に増加に転じると予測した。

原子力ワンポイント

ルイ・パストゥール医学研究センターの宇野實津子先生は、「放射線と体内の水との反応によって生じる、活性酸素ががんを生じさせる」の主役です。でも生体には、このがん化を抑制する何重もの防御システムが備えられています」と説明しています。

広く利用されている放射線

ゆりちゃん「活性酸素ががんリスクの主役」(ついでに)で

タクさん その理解には人類の長い進化の歴史をたどる必要があります(II図1)。まずは「アミノ酸」の生成で

進化過程で構築された生体防御システム

ゆりちゃん「活性酸素ががんリスクの主役」(ついでに)で

タクさん その理解には人類の長い進化の歴史をたどる必要があります(II図1)。まずは「アミノ酸」の生成で

島根発電所 基準地震動追加

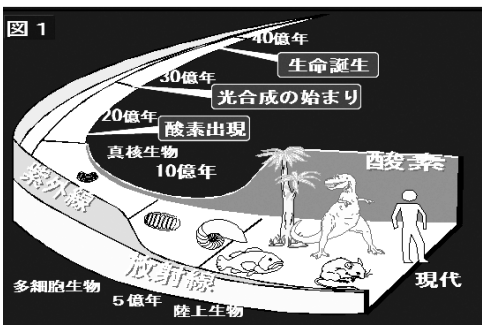
中国電力

中国電力は十日、島根原子力発電所の耐震安全性評価に係る基準地震動に関する、新たな知見を踏まえ、これまでのSs-1(3)に、Ss-4(五百八十五ガル)を追加設定した上で、新規基準への対応に反映させることを発表した。

「大臣と語る会」参加者募集

外務省は、「核軍縮・不拡散をテーマ」として、長崎大学医学部良順会館で一月二十日午後一時より行われる「岸田文雄大臣と語る」係(電話03-5501-8129)まで。

外務省は、「核軍縮・不拡散をテーマ」として、長崎大学医学部良順会館で一月二十日午後一時より行われる「岸田文雄大臣と語る」係(電話03-5501-8129)まで。



出典: 電力中央研究所第十六回エネルギー未来技術フォーラム

大事なのは、DNAになったのです。一方、地Aを膜で包み込んで保護された真核生物へと変化しました。さらには仲間だけ成されます。これにより、有害な紫外線が遮られ、生物が地上で生活できるようになりました。しかしここで大きな問題が生じます。それはミトコンドリアに由来する活性酸素が、DNAを傷

一部は酸素の少ない海底深くに逃げていきましたが、ほんの一握り、食事で摂取したアミノ酸を結び付け、エネルギーを生み出す細胞の「先ず仲間同士で融合し、生命にとって最も

「生体防御システム」を構築し、微量な放射線の悪い影響を防ぐ能力を得たのです。

(原産協会・人材育成部)